



明治大学校友会 清瀬地域支部

MEIJI NEWS

第6号
2016.10.1

発行：明治大学校友会清瀬地域支部 編集：広報部 発行責任者：粕谷 彌太郎

けやき通りに響き渡る 合唱のハーモニー

明治大学校友会多摩支部清瀬地域支部 設立五周年記念コンサート

- 出演**
- 明治大学グリークラブ
 - 明治大学グリークラブOB会合唱団 駿河台倶楽部
 - 清瀬第九合唱団 (賛助出演)
 - 清瀬第十小学校合唱団 “Stella” (賛助出演)

2016年 **11月19日** 日 出

14:00 開演 (13:30 開場)

会場：清瀬けやきホール

チケット料金

¥999

問合せ先：中村

kiyose-event@meiji-tama.net

チケットは「けやきホール」窓口でもお求めになれます (9時~20時)

※「けやきホール」への電話でのお問合せ、予約等については出来ませんのでご注意ください。
チケットの販売は11月17日(木)までとさせていただきます。

プログラム

- オープニング ▶ エール (校歌)
- 第1ステージ ▶ 明治大学グリークラブOB会合唱団 駿河台倶楽部
- 第2ステージ ▶ 清瀬第九合唱団 (賛助出演)
- 休憩
- 第3ステージ ▶ 明治大学グリークラブ
- 第4ステージ ▶ 清瀬第十小学校合唱団 “Stella” (賛助出演)
- 第5ステージ ▶ グリークラブ&駿河台倶楽部による合同演奏

交通

西武池袋線清瀬駅北口下車 直進 けやき通り一つ目信号を左折
※車でのご来場はご遠慮ください。

主催 明治大学校友会多摩支部清瀬地域支部

後援 清瀬市・清瀬市教育委員会

五周年記念コンサート開演間近

実行委員 粕川偉二男(昭48政経)
昨年十月「五周年記念コンサート実行委員会」が組織され、コンサート開催の打合せを重ねてまいりました。会員皆様の全面的な支援及び出演団体のご協力、清瀬市、清瀬市教育委員会の後援をいただき活動してまいりました。

コンサート開催の経験は全くありませんでしたので、試行錯誤の連続でしたが、関係諸団体の温かいアドバイスを頂戴し活動してきました。
夢の実現まであと一歩です。

母校のグリークラブおよびそのOB会合唱団「駿河台倶楽部」、清瀬を代表する混声合唱団「清瀬第九合唱団」そして活発な音楽活動を行っている「清瀬第十小学校合唱団「Stella」」をお迎えして「けやき通りに響き渡る合唱のハーモニー」が展開されます。

小学生から大学生、社会人そして前期高齢者、後期高齢者のみなさまが一堂に会するコンサートは滅多にありません。

ご来場をお待ちしております。
チケットは、**けやきホールにて絶賛販売中!**

五周年記念コンサートに「女子力」を!

中村 曠(昭36政経)

設立五周年記念コンサート開催を機に女性の協力を期待する声が高まり、懇談会開催の運びとなりました。

去る五月三十日(月)午後清瀬駅前のお茶「エンゼル」に齋藤千代子さん(昭37法)、大山恭子さん(昭45文)の参加を得て、第一回女性会員懇談会を開催しました。

和田幹事長と五周年実行委員会から佐藤、丸山、中村

が出席しました。

齋藤さんは、音楽が趣味、大山さんは紫紺句会発足当初から俳句の手ほどきをお願いしています。

お二人からは早速、コンサート開催への協力申出があり、さらに貴重な意見も伺うことができました。

以降、齋藤さんには毎月開催の実行委員会にも出席、チラシのポスティング活動など積極的に協力していただいております。

当日、出席できなかった会員からも「今回は出席できないが、コンサートには協力したい」とご返信をいただき、今後の女性パワーへの期待が膨らんだ懇談会でした。現在、清瀬在住の校友は四百二十名、内女性校友は八十四名です。なお、登録会員は八十三名、うち女性会員七名です。

近年、女子学生が増加しており、校友会の女性会員の増加が期待でき、「女子会」創設の夢の実現も近いと願っております。



女性会員のみなさんと(エンゼル)



第五回清瀬地域支部定時総会の報告

清瀬地域支部幹事長 和田 人男(昭33法)

五月十四日(土)清瀬市生涯学習センターにおいて、明治大学校友会多摩支部から鈴木紘一副支部長をはじめ近隣地域支部から来賓をお招きして、校友会清瀬地域支部第五回定時総会を開催しました。

総会開始前、清瀬地域支部として『熊本地震災義捐金』を募り、ささやかなりとも支援の一助にと参加者にご協力をお願いしたところ一万五千円の募金が集まりました。総会は、浅井幹事の司会で始まり、粕谷地域支部長、ご来賓のご挨拶、参加者の自己紹介があり、議長に粕谷幹事を選出しました。

議事進行は、平成二十七年事業報告、決算報告に続き監査の報告がありました。つづいて平成二十八年度事業計画、予算の提案説明が、質疑応答の後、賛否を求めたところ、いずれも賛成多数で提案どおり承認されたことを報告します。ご協力ありがとうございました。

次に、粕谷地域支部長から、二点について報告がありました。

- ① 役員の退任並びに顧問委嘱について、
- ② 役員の補充について、

平成二十八年度清瀬地域支部活動計画の概要について

平成二十八年年度の活動計画は、昨年同様十五項目の事業活動を設定しました。

この中で、定例的な項目については、計画通り推進してまいります。

本年度は、地域支部設立五周年を迎えました。その記念事業として『記念コンサート』の実施を役員会で決定

しました。

この件は、昨年度から実行委員会を設置し、企画、立案を重ね現在に至ったところです。

現在も、中村実行委員長を中心として、二十数回の会議を重ねてまいりました。

また、清瀬市長、同教育長、賛助団体等との折衝など多方面にわたった活動となっております。

『地域支部設立五周年コンサート』は「げやきホール」において、本年十一月十九日（土）午後二時に開演いたします。

実行委員の皆様の努力が記念事業の成功に結びつくものと確信しています。

この「イベント」は、私達校友会の願望であり、地域社会に貢献するという本会の目的にも合致いたします。会員の方々は勿論、地域の皆様のご協力ご支援をお願いします。

第十三回多摩支部総会に出席して

齊藤 強（昭38工）

去る七月十日、立川グランドホテルにおいて、明治大学校友会多摩支部定時総会が開催されました。

総会に先立ち、明治大学副学長 吉田 悦志教授による講演会が開かれ、「阿久悠と美空ひばり」と題し、戦後の歌謡曲に描かれる《女心》の表現の変遷を音響の素晴らしきバックグラウンドに乗せ講演をしていただきました。

古賀政男、美空ひばりに代表される古賀メロデーによる「みだれ髪・悲しい酒」に唄われるような《かよわいおんな》から阿久悠の描く「北の宿から…都はるみ」に見られるように悲しみを乗り越えようとする《女》。

さらに宇崎竜童、阿木燿子の描く「真赤なポルシェ」に乗り、六本木を駆け抜ける現代風な《女性》へと女心の表現が歌詞の中で時の流れと共に変遷していく様を解

りやすく曲を流しながらの解説に、時を忘れ聞き惚れしました。

阿久悠の描く女性を代表し、高橋真理子の歌う「ジヨニイへの伝言」で悲しみに負けない女性の姿が表現され、また、それが宇崎・阿木燿子コンビに一連の流れの中で受け継がれてゆく様は、音楽部門における一つの伝統を作りつつあると言っても過言ではないかと思われました。

明治で良かった！

明治大学も受験人気NO.1 だそうです。吉田教授の率いる《国際日本学部》が非常に女性に人気があるそうで、さもありなんと思えました。



吉田副学長と北野校友会副会長



第13回定時総会会場風景

会員募集と会費納入のお願い

組織部長 島崎 光（昭31商）

清瀬地域支部は設立五年目を迎え、会員数八十三名（男性七十六名、女性七名）になり、校友会が地域に定着しつつあることは喜ばしいことです。

当地には、校友の方々が男女四百余名（毎年、新卒者、

転出入者が十名ほど）が在住しておりますので、さらなる会員増加と親睦を図りたいと願っております。

毎月の役員会は、会員懇談会を兼ねており、会員の皆さまにも積極的にご参加いただき自由にご発言願いたいと思っております。

例会は、毎月第二日曜日、午後一時三十分から会場は借室のため、市生涯学習センター（アミュー）、郷土博物館、げやきホール等の会議室です。

詳細は和田幹事長まで問い合せてください。

年会費納入のお願い

平成二十八年年度の年会費（二千円）の納入をお願いしておりますが、未納の方は納入をお願いいたします。会費は、会報の制作・連絡など運営費に使われます。納入は、同封の専用払込書でお願いいたします。

新会員募集中！

一緒に校友会活動をしましょう！

現在登録会員数 八十三名
年会費 二千円



ご参加をお待ちしております！

清瀬での校友会発足以来五年目を迎え慶ぶこと

支部長 粕谷 彌太郎（昭28政経）

今年七月で八十六歳、清瀬に定住して五十五年。明大時代は港区白金に居てたいへん便利だったが、叔母に早く家を建てなさいとうながされ、会社へ入って五

年目に今のところを決めました。会社は目黒だったので
山手線内に一時間内で行ける場所を選びました。

母と二人そして家内、子は男子三、女子一と七人暮し。

昭和三十九年に結婚、四十年に高松へ転動しました。

長女は四国生まれ、長男は大阪、そして二男と三男は
清瀬で誕生しました。

もう転動はないだろうと思い、地元清瀬のボーイスカ
ウトへ三人の息子がお世話になりました。

親もデンマザーとか団体委員に参加し、子供たちが上級
スカウト卒業後、私だけが残って、新しく入ってくるス
カウトと親の指導にあたりました。

長女が結婚、孫が出来ました。清瀬で連れ合いが飲食
系の会社に勤務、多忙のため、外孫一号としてよく面倒
をみたことが思い出に残っています。

その孫が明大に入り、平成二十七年に卒業、昨年、飲
食系会社へ入社、現在大阪で活躍中です。

ほかの子供達の孫より長い付き合いで私にも良くなれて
くれて相談にものっている間柄です。六人の孫の中では
最も近い子です。

わが校友会の課題は、女性の入会と若い層のOBを引
き出すことです。私の孫をみると、学校ではOBで
も会社では現役ばかりです。どうしたら校友会に誘え
るでしょうか。校友として年齢層が高くなってきてい
なにか考え方を変えないといけませんね。

学校ではホームカミングと銘打ってOBを年齢層別に
呼び掛けています。また、グループ別での呼びかけが必
要かとも思います。女性会員については、句会の発端と
なった大山恭子さんと今回の明大グリーンクラブコンサ
ートの手助けをしてくださる齋藤千代子さんが活動の元
になっていただけて誠に心強く思っています。今回のコン
サートを機に何らかの新しい行動が実現できればと願っ
ております。

女性の会員数が少ないので発起人会を作り、あらため
て女性を誘う方針を立てたいと思います。
どうぞ皆様のよきお知恵を拝借させていただきます。

エッセイ 北陸シリーズその三

我がふるさと富山

穴田 作道 (昭38政経)

私の生家は富山市郊外である(市は富山県の三割の面
積を占める)。米作農村で、海岸まで約三キロメートルの
位置。終戦まで五百メートル先は飛行場だった。いつの
日か飛行機等の残骸を爆破する光景を目にした記憶が残
っている。現在は米作が大豆作りに変わったことに驚愕
している。

富山県は、富山市側を呉東、高岡市側を呉西と呼ばれ
ている。京や加賀藩との距離的なことから史跡は呉西に
多い。小矢部市の俱利伽羅峠(木曾義仲の戦い)、南砺市
の世界遺産・五箇山合掌造り(平家落人伝説)及び瑞泉
寺(一向一揆の拠点)、高岡市の古城公園(越中国守・大
友家持と万葉集)などがある。

「観光」で一番のお勧めは、何といっても波打つ富山
湾を前景にした立山連峰。雨晴海岸(高岡市近郊)から
の眺望は、四季折々に楽しめる絶景である。特に冬は北
斎の「神奈川沖浪裏」に匹敵する。また、四月中旬に開
通する立山・弥陀ヶ原高原の「雪の大谷」は、海拔二千
四百メートル、雪壁十メートルを超える散歩道である。
その他、晩春は滑川市の海の幽玄「蛍イカ漁」、秋は九
月の八尾「おわら風の盆踊り」に続き、黒部峡谷の旅愁
「トロッコ電車」など県内外の観光客に喜ばれる。

南砺市の真宗大谷派「瑞泉寺」と「井波彫刻」では大
伽藍と世界に誇る精緻な技術に感嘆する。

ここで、あまり知られていない「全国チンドンコンク
ール」を紹介する。富山市で毎年四月に開催される。
プロ・アマ約五十組が参加し腕前を披露し、市内を練
り歩く。カメラアングルには格好の題材である。今年六
十二回目を迎えた富山の春を彩る祭りとなっている。

「食べ物」では、何といっても新鮮な海産物である。
白エビ・蛍イカ・寒ブリ・紅ズワイガニなどが特筆さ
れる。「たら汁」は心身とも暖まる食べ物で国道八号線に
多くの取り扱う食堂がある。また、イカの「黒作り」は
酒肴だけでなくご飯の同伴でもある。二十数店ある「鱒
ずし」は駅弁でも定番。「細工蒲鉾」は富山の慶事に欠か
せない、おすそ分けの思想が込められている。
その他、私の好物に「ささげ餅」がある。小豆の餡で
なく塩味のササゲを餅に絡めたシンプルなもので、どこ
の和菓子屋にもある。
新幹線が開通し、東京から大変近くなった。是非一度
旅行先に選んで、菓売りだけでない越中富山を実感して
いただければと思う。



全国チンドンコンクール



細工蒲鉾



雨晴海岸 (高岡市近郊)



おわら風の盆踊り (八尾)

第四回多摩湖一周ウォーキングのご案内

浅井 廣 (昭53文院)

ウォーキングは今年第四回を迎えます。お蔭様で年々市民の方々の参加も増え、昨年は、三千数名が参加した楽しく、賑やかなウォーキングとなりました。秋の紅葉を満喫し昼食時の多摩湖の湖面の輝きにみなさん感嘆し、食事はさらに美味しくいただきました。今年も多くの方々に参加いただき、みなで秋の一日を楽しみたいと思います。是非ご参加ください。

日時 十一月二十六日(土)
集合 九時三十分 西武球場前駅改札口
申込先 十二月十五日まで和田幹事長



昨年参加者、小学生から高齢者まで
「さあ出発だ!!」

第六回麻雀大会を開催

福島 寛 (昭37政経)

九月六日に第六回麻雀大会を近隣の雀荘「たんぽぽ」で開催しました。台風が次々発生する中、当日は丁度よく晴れ間に見舞われ、少し涼しさも感じられました。和田幹事長の挨拶の後、午前十時より開戦となりました。六回戦で最高合計点数を得た人が優勝です。今回は、和田幹事長のほか、齋藤さん、志村さん、松尾さん、丸山さん、それに福島が参戦しました。また、市内の麻雀愛好家の九名が参加され、四卓を囲むことができました。みなさん元気あいの中、六回戦を戦い、優勝は出席者中一番若手の齋藤正さんで、我が校友会からは丸山さんが八位、松尾さんが十位と残念ながら入賞者はおりませんでした。次回に期待したいと思います。試合後、市内を含めた有志の方々数人で暑氣払いをし、散会しました。



勝利を信じ、真剣な眼差し
(於「たんぽぽ」)



あぢさゐり吟行と句会に参加して

佐藤 房夫 (昭和39工)

石田波郷実行委員会主催の「あぢさゐり吟行・句会」が、六月二十三日(木)開催されました。校友会から大山、椋谷、中村、佐藤の四名が参加しました。吟行は午前十時清瀬駅に集合し清瀬高校へ行き、あぢさゐりの咲く校庭を散策した後、あぢさゐりロードを通り中央公園の波郷句碑を訪ね、次に東京病院へ行き、病院裏の「外気舎」や「出発点の杭」をみて、波郷の入院当時に思いを馳せました。

午後一時よりアミューホールにて、市史編さん室の香西真弓氏による「波郷と清瀬」について講演がありました。

つぎに「あぢさゐり句会」が開かれ、投句された一三五句の中から参加者各々三句を選句した大賞と選者三名による特選三句が表彰されました。

大賞には中村みちよさんの句が選ばれました。
日暮には間がある木椅子額の花 中村みちよ

句会では大山さんが選者、椋谷さんが司会進行を担当しました。会場の設営、受付、後片付け等は稲門会と明治校友会で行い、終了後稲門会の方々と懇親会をして交流を深めました。



清瀬高校のあじさい



アミューホールで句会

特選三句は次の俳句です。

梅雨晴や七対七の草野球 岩片 文字

外気舎の祈りを見たり茂り中 山形 れん

波郷碑の照りにたじろぐサングラス 山形 れん

紫紺句会活動報告

梶谷 榮吾(昭46法)

紫紺句会は、毎月第三日曜日の午後で開催しており、九月十八日の第二十六回「紫紺句会」は、秋の季語を用いた俳句を投句して開催しました。句会発足後、二年余りで細見道子先生(校友)の的確な指導もあって、なかなか上達していると思います。

句会の始まった当初は、「季語はひとつですよ、切れ字はひとつですよ」と基本的な間違いをたびたび指摘されました。また、慣れない文語体・旧仮名遣いに苦勞しました。

今はみんな句作に慣れて自信に満ちた俳句が多いように思います。

昨年は石田波郷俳句大会に二名入選しましたが、今年の大会にも多数応募しており何名入選するか発表が楽しみです。

会員数は現在十七名で常時十二、三人参加しています。現在会員を募集しています。みんな楽しんでみながら開催していきますので気軽に参加してください。句会後の反省会を兼ねた懇親会もみんなで楽しんでいきます。

なお、「清瀬紫紺ネットブログ」には、毎月の句会の様子が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



第八回石田波郷俳句大会について

梶谷 榮吾(昭46法)

第八回石田波郷俳句大会は、十月三十日(日)に清瀬けやきホールで開催されます。

今年も、一般の部に全国から二千二百句を超え過去最高の応募がありました。全国的に知られる大会になってきているように思います。

我が校友会も、この事業に協力しています。

今年も石田波郷俳句大会実行委員会に三名参加しているほか実行委員会主催のあぢさゐ吟行句会、小中学校への俳句出前授業、応募の俳句のパソコン入力作業などに協力してきました。大会当日の運営にも協力することになっています。清瀬稲門会と共に我が校友会がこの大会の強力な支援グループとして期待されています。

清瀬市を「東の松山、西の清瀬」と称されるような町にしたいと熱心に活動された大山雅由氏の急逝により、その遺志を継いだ、奥様の校友細見道子氏(実行委員会副会長)がこの事業の中心になって活躍していますが、校友会としても協力していきたいと思っています。

今後とも皆様のご支援をお願いします。



昨年の大会で受賞する校友丸山さん



◎俳句出前授業のアシスタントとして参加

今年の俳句出前授業は、五月二十日から七月二十日まで行われました。俳句の先生方が市内の小中学校に出向いて児童を指導していますが、昨年からの授業にアシスタントとして二、三名が同行しています。清瀬句会、平林寺句会などとともに紫紺句会からも参加し、生徒の俳句作りのアドバイスをしています。

今年も、紫紺句会のメンバーから、佐藤さん、中村さん、丸山さんと私の四人が協力しました。純真な子どもたちの俳句に接し、こちらも教えられることが多々あり、いい経験ができました。

このような地道な活動が石田波郷俳句大会や清瀬市の今後の発展に連なるものと思います。これからも協力していきたいと思っています。

「紫紺俳壇」

◎紫紺句会作品集



向月台雲ひとつ乗る蓮の花

穴田 作道

菖蒲田や雨の白玉弾け飛ぶ

粕川 偉二男

この暑さ蟬も地をゆく蟻御輿

粕谷 彌太郎

踏切の鐘の音遠し春北風

斉藤 強

どこまでも五風十雨の麦畑

佐藤 房夫

夕立に降りこめらるる古書漁り

島崎 光

雨傘を日傘にかへて深大寺

中西 宣一

山菜更や城址に残る大工の銘

中村 曠

穴大積み浸みる岩間に苔の花

西尾 修一

そつと買ふ四十年目のカーネーション

福島 寛

鰻食ふ一番乗りして差し向かひ

福田 信夫

父母のなき故郷の山河法師蟬

梶谷 榮吾

孫取りぬ広くさびしい夏座敷

丸山 隆

ひと筋の飛行機雲や秋さびし

山口 昇

高-speed路ひと山越せば秋の風

和田 人男

近隣支部主催のイベント

多摩支部主催

多摩支部地域支部対抗ディスクゴルフ大会に参加して

福田 尚也 (昭39商)

第七回多摩支部主催地域支部対抗ディスクゴルフ大会が三月二十六日(土)に立川の国営昭和記念公園のディスクゴルフ場で開催され、我が清瀬地域支部も四名が参加しました。

過去の戦績が芳しくなかったため、練習用ディスクを購入し、捲土重来を期して練習し、意気揚々と乗り込みましたが、今年も特筆すべき成績を収めることができません(実は、私が足を引った張ったのですが)終了し、会場を立川の「ベースボール」に移しての懇親会は、反省会と

化してしまいました。(ちなみに、今年度の優勝は、村山地域支部でした。)

「参加することに意義がある」のだと言いつつ聞かせながら帰途につきました。

参加者総数六十八名、競技参加者六十六名(青梅四名、立川六名、府中五名、小平六名、町田四名、村山四名、武蔵野六名、国立五名、三鷹四名、国分寺四名、日野三名、あきる野二名、清瀬四名、多摩市五名、稲城四名)。



チーム清瀬のみなさん



中島さんの第一投!

国分寺地域支部主催

日本橋・神田川舟遊びと日本橋散策

去る八月二十九日(月)国分寺地域支部主催の「日本橋・神田川舟遊びと日本橋散策」に和田さんと参加しました。

台風が接近して、天候が心配でしたが、集合時間の日本橋は晴れ時々、太陽も出るほど、参加者は、青梅、国立からの参加者もあって総勢四十人。貸し切り運河船(収容四十四人)に乗船。十時出帆、オランダ、アムステルダム運河クルーズを思わせるような船出でした。コースは日本橋から隅田川に入り、永代橋、遠くスカ

イツリーを望み右岸には芭蕉記念館などガイドさんの絶妙・名調子に魅せられながら両国橋から神田川に入り、お茶の水の聖橋、後樂園から再び日本橋川に戻り、鎌倉橋、常盤橋を経て発着所日本橋に着船、グルッと一回り、約一時間半の舟遊びでした。眩しい太陽を浴びながらの大満足の舟遊びでした。

下船時に急に雨が降りだしましたが、近くの「豊年満腹」でお酒とお喋りいっぱいランチ交流で盛りあがりました。

食後、解散となり、日本橋コレドで開催中の金魚展、人形町のカラクリ人形など日本橋周辺を楽しみました。国分寺地域支部の皆さま、幹事の堀田様は下見したうえで、本当にありがとうございました。

多摩支部の各地域支部が企画するイベントへの参加は新たな友情と交流を生み、深めることができます。

これからも機会を見つけて参加したいと思えました。(広報 中村記)



運河船に乗船



博識なガイドさん

熊本地震義捐金のお礼

企画部

先の明大校友会清瀬地域支部の定時総会にあたり、社会貢献活動の一環として熊本地震の義捐金募集を企画したところ、多くの方々の賛同を得ることができました。皆様方に感謝の意を表します。
義捐金は日本赤十字社に送金させていただきました。



清瀬地域支部の情報は

一、会報(MEIJU NEWS)

春・秋の年二回発行、会員に配布します。

二、校友会多摩支部ホームページ

<http://www.meiji-tama.net/kiyose-top.html>
多摩支部の各地域支部の情報掲載。

三、ブログ(紫紺ネット)

http://blog.goo.ne.jp/tuyosi1940_001
インターネット情報などをお知らせします。

四、清瀬紫紺ネットメール

会の連絡手段として利用しています。
メールアドレスの登録が必要です。

海鮮居酒屋 はなの舞

清瀬南口店

ご宴会は50名様まで
お受けいたします

清瀬駅南口 徒歩1分
清瀬市松山1-11-12
清瀬駅前ビル2F
Tel.042-496-0253
営業時間 16:00～翌3:00

日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会を
ご用意しております

清瀬駅南口 徒歩1分
清瀬市松山1-9-4
Tel.050-5788-8323

営業時間 平日11:30～14:00
16:30～22:00
土日11:30～22:00

定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・井もの
配達いたします
宴会承ります
(忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です
揚げたて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00～20:30
定休日 水曜日
住所 清瀬市上清戸2-6-28
(郷土博物館となり)
Tel. 042-493-3890

編集後記

○五周年記念コンサートがメインとなりました。

○「北陸シリーズ」富山の次は何処へ?

○ブログ(紫紺ネット)も「ご覧ください」。

感想、希望など、「意見を」お寄せください。

POSTターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28政経)

本店
〒204-0022 清瀬市松山1-27-1
Tel.042-492-0611 Fax 042-495-8357

本社事務所
〒113-0033 文京区本郷2-40-7
YG30ビル 6F
Tel 03-3813-7761 Fax 03-3813-7763
URL <http://www.a-mytech.co.jp/>

あなたの街の
村越自転車店

〒204-0022
東京都清瀬市松山2-3-3
Tel.042-491-0349
村越 勝重(S50工)

清瀬駅

三井住友銀行